

○吉本議長 通告4番目、8番、田中宏幸議員、一問一答方式で質問願います。

田中宏幸議員。

○田中議員 8番、田中宏幸です。議長の許可を得ましたので、通告に従い一般質問をさせていただきます。

まず最初に、生活道路の環状化についてご質問させていただきます。

先日、3月18日に京奈和自動車道紀北西道路の岩出西インターから和歌山ジャンクションの間が開通し、京奈和自動車はこれで和歌山県内が全線開通したことになりました。紀北西道路は、工事着工から比較的早いこの時期に全線が開通したことは、国土交通省の頑張りはさることながら、市長の働きかけも大きかったものと感謝申し上げます。

この開通により、岩出市内の渋滞緩和や、また産業や観光面で京奈和自動車沿線地域の広域的な地域活性化と防災面での強化が図られるものと期待しております。

また、現在、県道泉佐野岩出線の岩出橋が工事中であり、平成27年には市道根来安上線が、そしてまた、平成28年には市道押川根来線が開通するなど、岩出市内の道路環境は飛躍的によくなってきております。

しかし、市内では幹線道路から一步脇道にそれると、車の対抗が困難な狭い道路であったり、行きどまりの道路が見受けられたりします。

昨年末の市政懇談会でも、市長は、今後、生活道路の環状化を重点事業として位置づけ取り組んでいくとおっしゃっておりました。今回、平成29年度一般会計予算の概要にも、主要施策として、市道生活道路の環状化事業1,870万が計上されておりますが、生活道路の環状化はどういった施策なのか、また、道路整備がどういふふうになされていくのか、具体的にどのような箇所を考えておられるのか、ご答弁をお願いします。

○吉本議長 ただいまの1番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 田中議員のご質問、生活道路の環状化についてお答えいたします。

近い将来、高い確率で発生すると言われていた南海トラフや中央構造線を震源地とする大規模地震などの震災が懸念される中、道路事業におきましても防災を視野に入れた取り組みが必要と考えております。

そこで、生活道路の環状化についてであります。道路が狭かったり、行きどまりであったりといった入り組んだ地域におきまして、通常時はもちろん、災害時や緊急時に広い幹線道路へ円滑に出られるようにする事業で、今後、市の重点事業と

して位置づけ、取り組んでまいります。

平成29年度は、新規事業箇所として、西野地区の市道西野備前2号線及び北大池地区の市道北大池6号線の2路線について予算計上させていただいております。

○吉本議長 再質問を許します。

田中宏幸議員。

○田中議員 ただいま平成29年度の事業箇所についてご説明いただきましたが、これから、今後、この事業について、どういった展開を考えておられるのか、再度お聞きいたします。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○船戸事業部長 再質問にお答えします。

この事業につきましては、用地等地元協力が不可欠であります。また、この事業は市民の方々にまだまだ浸透していませんので、去年に引き続き市政懇談会などでPRを行い、趣旨を理解していただいた上で、地元協力を前提とした要望があれば、積極的に事業化を検討していきたいと考えております。

さらに、開発協議におきましても、生活道路の環状化を意識して、開発業者に道路計画の指導をしてまいります。

○吉本議長 これで、田中宏幸議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いします。

田中宏幸議員。

○田中議員 次に、青少年健全育成の取り組みについて。

岩出市では、子供たちが安心して日常生活が送れるように、青色パトロールの巡回や通学路に設置している子ども見守りカメラの運用とともに、夏休みや冬休みなど街頭補導を実施しております。また、登下校時のあいさつ運動や見守り活動などを実施し、家庭、学校、行政の連携はもとより、関係機関、各種団体との連携を強化していくことで、子供たちの学校生活が安全に守られると思います。

今回、青少年健全育成の見守り活動について質問させていただきます。

ことしの1月のことなんですが、1月30日の朝、島根県益田市の国道で、集団登校の小学生の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込み、小学校3年の男児と付き添って見守り活動をしていた男性がはねられ、男の子は軽傷でしたが、男性は31日未明、搬送先の病院で亡くなるという事故が発生しました。男性は34年前に現場近くで下校中の娘を交通事故で失っており、再発防止のため、地元の子供たちを守るため、

長年にわたり、毎朝、ボランティアで登校に付き添い、見守り活動をしていたとい  
います。

こういった登下校中の列に車が突っ込む事故が多発しております。私たちのまち  
でも、いつ発生するかわかりません。見守り隊の保険への加入はされているのか、  
お聞きします。

次に、2点目、悲惨な事件や事故、また不審者情報が全国で発生しています。2  
年前には、紀の川市で、小学生が自宅近所で遊んでいる中で悲惨な事件が起きてし  
まいました。こういった犯罪や事故をなくしていくためには、たくさんの方々に見  
守り活動に参加していただくことが大切であると思います。子供を見守るのは見守  
り隊だけではなく、地域の人たちが、ふだんの生活の中で、何げなく子供の安全に  
気を使っていただければと思います。

例えば、買い物の行き帰りの道を注意してパトロールをしていただいたり、毎日、  
ウォーキングをされている方や犬の散歩をしながらのパトロール、これは紀の川市  
で実施されていますが、そういった方に参加していただき、見守り隊を動員してい  
くことが犯罪の減少につながっていくと考えますが、いかがでしょうか。

次に、3点目、見守り活動をされている場所は、登下校する通学路がほとんどで  
あります。その交差点で見守り活動をしている方が、登校中の児童に横断歩道を渡  
ってねと声をかけると、児童が、横断歩道が消えてなくなっているよと言われたそ  
うです。以前から市内に横断歩道が消えている箇所がたくさんあり、書きかえをお  
願いしていますが、警察に要望していますとの回答です。事故の未然防止からも喫  
緊の課題として、早急に書きかえしていただくよう警察に要望していただきたいで  
す。

最後に、見守り活動の対応についてですが、子供たちの安全のための奉仕活動と  
はいえ、冬の凍るような寒い中、また、夏の猛暑の中での活動は大変なご苦勞であ  
ります。見守り活動を行っている方へねぎらいの言葉でもかけていただき、感謝の  
気持ちを届けることが大切であると考えますが、いかがでしょうか。どうか、答弁  
よろしくお願いします。

○吉本議長 ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育長。

○平松教育長 田中議員の一般質問2番の1点目、見守り活動の保険加入についてお  
答えいたします。

岩出市におきましては、見守り活動中の死亡事故や重傷を負ったという事案は、

幸いにも発生していませんが、この見守り活動に参加いただいている市民の方が、万が一何らかの事故に巻き込まれた場合に備え、子どもを守るネットワーク行事参加者傷害保険に加入しています。この保険は、主に福祉活動やボランティア活動を目的とした参加者への傷害保険となっています。

2点目の見守り隊への参加、協力についてであります。議員ご指摘のとおり、全国的に子供が悲惨な事件・事故に巻き込まれるといったことが多く報道されています。本市においても、いつ、どこで、誰が巻き込まれるかもしれないという危機感を持たなくてはならないという中で、子供を1人でも多くの大人が見守ることが大きな抑止力になると考えております。

現在、関係各種団体、地域の皆さんなど、多くの方々の協力のもとで、登下校時に声かけやあいさつ運動を行っていただいております。また、その活動を支援させていただき、見守り活動にご協力いただける方々には、腕章やベストを交付し、事あるごとに、できるときに、できる場所での見守りをお願いしております。皆様の地道な活動のおかげで、児童生徒に不安を与える岩出市内の不審者情報については、平成25年度が33件、平成26年度が32件、平成27年度が36件でしたが、平成28年度2月末時点で14件と大幅に減少しています。これも皆様方の活動のたまものと感謝しております。

今後も家庭・学校・地域と連携し、ボランティアの増員を図りながら、活動の推進に努めてまいります。

4点目の見守り活動の対応についてであります。まず、日ごろの見守り活動にご参加、ご協力いただいております皆様方に心からお礼申し上げます。

年間を通じての活動であり、登校時は朝7時ごろから、また、下校時は市内放送後、夕方まで活動いただき感謝の気持ちでいっぱいあります。

見守り活動は、子供の安全確保はもとより、挨拶を交わすなど、子供とコミュニケーションをとることにより、子供の変化にも気がついて学校との連携を図っていただけるなど、青少年の健全育成に大きな効果を上げていただいております。

議員ご質問の感謝の気持ちを届けることについては、毎年9月に開催される青少年育成市民大会において団体表彰をさせていただいており、また、節目の大会では個人表彰もさせていただいておりますが、今後、さらに感謝の気持ちが形としてあらわれる何らかの取り組みを考えてまいりたいと考えています。

これからも未来を担う青少年の健全育成のため、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

○吉本議長 総務部長。

○藤平総務部長 議員ご質問の3点目ですが、交通安全第一ですので、後ほど、場所等確認させていただき、対応させていただきます。よろしくお願いします。

○吉本議長 再質問を許します。

田中宏幸議員。

○田中議員 4点目の見守り活動の対応についてですが、年に一度の活動されている方への青少年育成大会での団体表彰、それから、また節目節目の大会で個人表彰をされているということなのですが、今、教育長の答弁で、今後さらに感謝の気持ちを形にしてあらわせる何らかの取り組みを考えるとっておられました、どういったことを考えているのか、お聞きします。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育長。

○平松教育長 田中議員の再質問にお答えします。

見守り活動をされている方は、心から子供たちの安全・安心を考え、ボランティア精神でされているばかりであります、我々は、それに甘えてばかりではいけないと日ごろから思っております。

感謝というのは無形ではありますが、見守り活動をされている方々に対し、子供や保護者、学校や教育委員会等感謝の気持ちを目に見える形でお伝えできるような取り組みを今後検討してまいりたいと考えております。

○吉本議長 これで、田中宏幸議員の2番目の質問を終わります。

以上で、田中宏幸議員の一般質問を終わります。